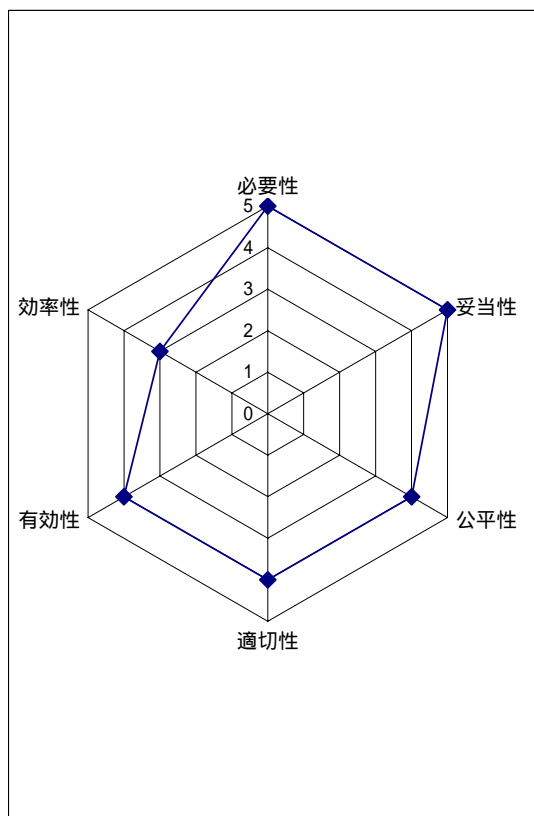


事務事業名	明るい地域づくり事業(現:防犯灯・通学路街路灯整備事業)	担当部局	市長部局 市民生活部
基本目標	美しいゆとりある快適環境と景観づくり(環境・都市基盤)	担当課名	防災交通課
施策体系	安全で快適な暮らしづくり(防犯・交通安全対策)	担当係名	交通対策係
施策	防犯体制の整備を進める		

1. 事業内容

事業本来の目的と具体的内容	通学路街路灯工事は自治会が管理できない民家から離れた通学路に街路灯を設置し、小中学生の下课時の交通事故防止および犯罪の抑止を目的とする。 防犯灯補助は、道路の通行の安全確保と夜間の犯罪抑止を目的とする。		
事業の期間(開始/終了)	年 月 / 年 月		
根拠法令、条例、規則など	交通安全施設における通学路街路灯設置要項 結城市防犯灯設置事業補助金交付要項		
事業が対象としている人(モノ)	防犯灯設置自治会・通学路街路灯設置申請した自治会	PTAなどから要望を受け通学路街路灯設置申請した小中学校	
具体的な活動内容	防犯灯補助金申請書が提出されたら、内容が適正であれば補助金交付決定を通知する。 工事が完了したら実績報告書を提出させ内容が適正であれば補助金確定を通知し後日振り込む。 通学路街路灯設置申請書が提出されたら、内容が適正であれば業者に発注する。		
事業の成果	通学路に街路灯を設置することで下课時の事故犯罪を減少できる。 防犯灯の設置を推進することで犯罪を減少できる。		

2. 事業の評価



項目	説明
必要性	5 ますます必要性は高くなっている 昨今子供を狙った犯罪や夜間の交通事故・犯罪が多発しており、マスメディアにおいても報道されるなど市民の防犯に対する意識も高まっているため、必要性が高い。
妥当性	5 行政以外にはできない事業である 補助事業は民間ではできないと思う。
公平性	4 目的とした対象者に対しては、概ね広く便益を提供している 要項に沿って事業を行っているため、特に偏りはない。
適切性	4 現在のやり方(手段)が一般的であり、特に問題はない 要項に基づいて設置している。
有効性	4 概ね目標水準に達している 交通事故、防犯対策として有効である。
効率性	3 どちらとも言えない コストは若干増加している。

総合評価	防犯灯設置への補助や通学路街路灯設置を図ることは、交通事故や犯罪の減少につながる事業である。
------	--

3. 今後の事業の方向性

所属 長 判断	事業の方向性判断	短期的方向	維持継続	中長期的方向	維持継続
	説明	道路照明灯(防犯灯・通学路街路灯)の設置事業は地域の治安維持上重要な事業といえるが、通学路街路灯については、現在の財政事情を考慮した場合、防犯灯への切り替え及び設置基準を検討すべきであり、防犯灯においては、自己及び地域の財産・生命は自ら守ることが原則であることから、地域からの積極的な設置補助申請をするよう啓発活動を行なう。			
決定 権者 判断	決定内容	維持継続			
	説明	安心で安全な街づくり事業を進めている本市については、各街路や通学路の夜間照明は必要である。特に女性や小学児童の凶悪犯罪を防止するためにも必要な事業である。			